

(国語)科(2)学年 年間指導・評価計画

- 教科の目標 ① 文章の構成や論理や物語の展開の仕方について、理解する。
 ② 場面に応じて、文章の要約や自分の意見を述べるなどの書く表現が適切にできる。
 ③ テーマに応じて、話す内容や話し方などを工夫して発表できる。
 ④ 語彙力を増やし、自身の表現に活かすことができる。

学期	月	単元名・学習内容	予定 時数	評価の観点			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度	
1	4	虹の足	4	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ	【態度】すでに登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。	
		質問する力をつける	5	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア	【態度】積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	
		タオル	6	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ	【態度】すでに登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	
	5	活用のない自立語	5	【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ		【態度】積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
		新聞の投書を書く	4	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べ、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	
		まちがえやすい漢字	3	【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や		【態度】繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	
	6	スピーチ	6	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ	【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。	
		水の山 富士山	5	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ	【態度】粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べ文章を書こうとしている。	
		日本の花火の楽しみ	5	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ	【態度】粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べ文章を書こうとしている。	
	7	漢字の成り立ち	4	【知識・技能】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や		【態度】繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	
		弁論発表	6	【知識】社会問題などについて調べ、その事象に対して理解を深めている。	【思考・判断・表現】社会問題や身近な課題について、適切な言葉を選んで話している。	【態度】社会問題や身近な課題について、相手に伝えるように文章を工夫し、適切な音量や抑揚で伝えようとしている。	
		夏	6	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面	【態度】粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。	
2	9	根拠をもとに意見文を書く	3	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	【態度】積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べ文章を書こうとしている。	
		活用のある自立語	5	【知識・技能】単語の活用について理解を深めている。(1)オ		【態度】粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
		敦盛の最期	6	【知識・技能】歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア	【態度】すでに現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。	
	10	随筆の味わい	6	【知識・技能】現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをおとし、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	【態度】すでに現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。	
		二千五百年前からのメッセージ	6	【知識・技能】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	【思考・判断・表現】「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	【態度】粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。	
		坊っちゃん	6	【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書を生かしている。	【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ	【態度】すでに内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。	
	11	漢字の多義性	4	【知識・技能】多義的な概念を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。		【態度】すでに漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	
		書き初めに向けた毛筆練習	10	【知識・技能】字形の特徴を理解している。	【思考・判断・表現】見本と比較し、自分の作品の改善点を考えることができる。	【態度】字形を調えるために、繰り返し練習をしている。	
		構成を明確にして手紙を書く	5	【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【知識・技能】敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。(1)カ	【思考・判断・表現】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ	【態度】積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文章を書こうとしている。	
	3	1	紙の建築	6	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	【態度】すでに文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
			ガイアの知性	6	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	【態度】すでに主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
		2	よりよい結論を導く討論をする	7	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ	【態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
走れメロス			6	【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア	【態度】すでに登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。	
3		付属語のいろいろ	5	【知識・技能】助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。(1)オ		【態度】助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして適切に表現し、理解しようとしている。	
			合計	140			